

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、2023年度を最終年度とする5カ年中期経営計画において「売上高1兆円、営業利益率8%以上」を経営目標に掲げています。今年度は中期経営計画達成に向けた最後の準備の年として、売上高9,600億円、営業利益820億円を必達目標としました。

2022年度第1四半期における当社を取り巻く環境は、脱炭素化やデジタル化の加速を背景に、自動車の電動化、省エネ、デジタルインフラなどのニーズが高まり、データセンター、半導体メーカー、機械セットメーカーなどの設備投資が高水準で推移しました。一方で、新型コロナウイルス感染拡大による中国のロックダウンやウクライナ情勢の長期化による素材価格の高騰や資材不足など、世界のサプライチェーンに影響が拡がり、先行き不透明な状況が継続しました。

このような環境のもと、当社は、パワー半導体の生産能力増強に加え、部材調達難に対する設計変更による代替部材対応や複数サプライヤー化などのサプライチェーン最適化に継続して取り組みました。素材価格高騰の影響は受けたものの、物量の増加に加え製品販売価格の値上げ、原価低減などを推進し、為替の円安影響も加わり、売上高、営業利益、経常利益はともに過去最高を更新し、好調なスタートを切ることができました。引き続き社員一同高い目標を持ち、チームによる総合力を発揮できるよう取り組んでまいります。

新型コロナウイルス感染症が再び拡大しております。株主様のご安全とご健康を祈念し、当社への一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年8月

富士電機株式会社  
代表取締役会長CEO

北澤通彦



## 2022年度 経営計画

2022年度は売上高9,600億円、営業利益820億円を経営目標として掲げ、以下の重点施策に取り組みます。

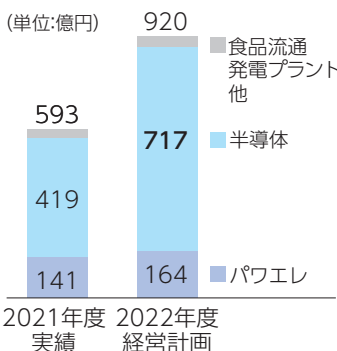
### 5セグメント全てで増収増益を計画

	2021年度実績	2022年度経営計画	増減
売上高	9,102	9,600	498
営業利益	748	820	72
営業利益率	8.2%	8.5%	0.3%
経常利益	793	830	37
純利益	587	590	3

※2022年度前提為替レート：120円/ドル、133円/ユーロ、19.0円/元

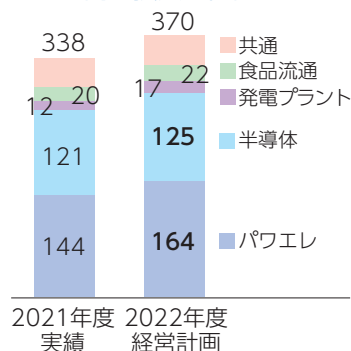
### 設備投資

#### 半導体の生産能力増強投資を拡大



### 研究開発

#### パワエレ・半導体への積極的な開発投資を継続



※研究開発費はテーマ別に分類したもので決算短信記載の数値とは異なります。

(単位:億円)

セグメント別	2021年度実績		2022年度経営計画		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
パワエレ エネルギー	2,310	212	2,360	221	50	9
パワエレ インダストリー	3,241	238	3,490	268	249	30
半導体	1,788	271	2,000	305	212	34
発電プラント	786	31	820	41	34	10
食品流通	908	30	920	51	12	21
その他	547	28	540	26	△7	△2
消去または全社	△478	△63	△530	△92	△52	△29
合計	9,102	748	9,600	820	498	72

### 重点施策

- 新製品による売上拡大
- システム事業の拡大
  - 設備を一括提案する「まるごとビジネス」推進
  - カーボンニュートラル市場の開拓
  - 保全業務全般の省人化・最適化支援サービス
- インド、東南アジアを中心とした海外事業の拡大
  - 地設、地産地消の体制強化
- 電動車需要拡大に対応した売上拡大、生産能力増強
- SiCなどの新製品開発および量産体制構築
- 再生可能エネルギー事業とサービス事業の拡大
- プロジェクト管理の更なる強化
- 自動化技術・冷熱技術などを生かした新規顧客開拓
- 高付加価値素材の開発・展開による収益向上

## 第1四半期決算

### 売上高、営業利益、経常利益は 過去最高を更新

	(単位:億円)		
	2021年度 実績	2022年度 実績	増減
売上高	1,900	2,039	140
営業利益	53	99	46
経常利益	59	123	64
純利益	50	99	50

#### 売上高

対前年140億円増収の2,039億円となりました。

パワエレ エネルギーの施設・電源システムおよび器具分野の需要増、発電プラントの再生可能エネルギーの大口案件影響に加え、半導体の電気自動車(xEV)向けおよび産業向けパワー半導体の需要増などにより増収となりました。

#### 営業利益

対前年46億円増益の99億円となりました。

パワエレ インダストリーはオートメーション分野の中国のロックダウン影響や素材価格の高騰、部材調達難による生産影響を主因に減益となったものの、パワエレ エネルギーは施設・電源システムおよび器具分野の売上増、半導体は需要拡大による高操業維持、食品流通は国内自動販売機の売上増、原価低減の推進などにより増益となりました。

(単位:億円)

セグメント別	2021年度実績		2022年度実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
パワエレ エネルギー	447	10	513	39	65	29
パワエレ インダストリー	653	3	652	△18	△1	△22
半導体	445	56	462	71	17	15
発電プラント	120	△7	168	1	49	8
食品流通	221	2	217	16	△4	14
その他	123	5	143	7	20	3
消去または全社	△110	△16	△115	△18	△6	△2
合計	1,900	53	2,039	99	140	46

## 第146回 定時株主総会開催のご報告

- 開催日時: 2022年6月28日(火) 午前10:00~10:54
- 開催場所: ウェスティンホテル東京

第146回定時株主総会には26名にご出席いただきました。当日は2021年度の事業活動を映像によりご報告するとともに、近藤社長COOより、2022年度の対処すべき課題として「経営目標」「事業別重点施策」などをご説明しました。なお、決議事項は全て承認いただきました。

※2021年度の事業活動および社長による説明につきましては  
当社ホームページにて映像でご覧いただけます。  
(右の二次元バーコードで株主総会のページにアクセスできます)

<https://www.fujielectric.co.jp/about/ir/stock/meeting/index17.html>



北澤会長CEO

近藤社長COO

#### 決議事項

- 第1号議案 定款一部変更の件
- 第2号議案 取締役10名選任の件
- 第3号議案 監査役1名選任の件
- 第4号議案 取締役の報酬額改定の件

株皆様のご承認に基づき、取締役は10名

(内、社外取締役4名)の体制となりました。

代表取締役	北澤 通宏	社外取締役	丹波 俊人
代表取締役	近藤 史郎	社外取締役	立川 直臣
取締役	安部 道雄	社外取締役	林 良嗣
取締役	荒井 順一	社外取締役	富永 由加里 (新任)
取締役	宝泉 徹 (新任)		
取締役	鉄谷 裕司 (新任)		

「親会社株主に帰属する当期純利益」は、本報告書においては「純利益」と表記しております。  
本報告書の将来についての戦略などに関する記載は、作成時点において当社が合理的と判断した一定の前提に基づくものであり、  
実際の結果とは実質的に異なる可能性があり、当社はこれらの記載のうち、いかなる内容についても確実性を保証するものではありません。